神戸大学 大学文書史料室 Kobe University Archives 神戸大学百有余年の 伝統ある歴史が 今ここに… 111111

年次報告書 令和2年度

ご挨拶

神戸大学大学文書史料室は、平成22年4月1日に設置された神戸大学公式アーカイブズです。その目的は、本学の法人文書のうち歴史資料として重要な文書として移管されたもの、寄贈・寄託されたもの、その他本学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することにあり、国から「国立公文書館等」(=国立公文書館に類する機能を有する施設)に指定されています。

本報告書は、令和 2 年度に大学文書史料室が実施した様々な事業を整理したものであり、いわば各事業の実績に関する自己評価に相当するものです。本報告書を通して、多くの方々に大学文書史料室の活動をご理解いただくとともに、これからの大学文書史料室の運営に関して忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

目次

1.法人文書移管受入れ等	
1 - 1 . 法人文書移管協議 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1 - 2 . 法人文書等の受入れ状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
1 - 3 . 目録入力 ······	3
<u>2.利用状況等</u>	
2 - 1 . 利用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2-2. デジタル・アーカイブの充実及び史料原本保護のための電子化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2 - 3 . 展示会の開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
2 - 4 . 他機関等からの見学受入れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
<u>3.研修その他</u>	
	9
3 - 2 . その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
/AT	12
	12
令和 2 年度 評価と課題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
大学文書史料室概要(令和3年4月1日)	

本報告書は、令和2年度における神戸大学大学文書史料室の活動をまとめたものです。数値は令和3年度第1回大学文書史料室運営委員会に提出した令和3年3月末時点のものを基本とするため、移管件数等については後日内閣府から発表される数値(令和3年7月末に確定)と若干の差異が生じます。

1. 法人文書移管受入れ等

1-1. 法人文書移管協議

【事業計画※】

(※令和2年3月13日大学文書史料室運営委員会承認)

令和2年度法人文書移管協議は、次のとおり実施する。

- ・年間スケジュール(予定)
 - 10月~2月 全学の「法人文書ファイル管理簿」(総務部総務課の取りまとめで 10月頃完成予定)を基礎データとして「法人文書移管協議のための台帳(移管協議台帳)」案を作成し、全学各部局との移管協議を実施する(法人文書の評価選別と現物確認を含む)。
 - 2月~3月 移管·廃棄の措置について大学文書史料室運営委員会で審議決定し、その結果を室長名で総括文書 管理者(事務局長)に報告する。
- 対象

移管協議の対象は、次のとおりとする。

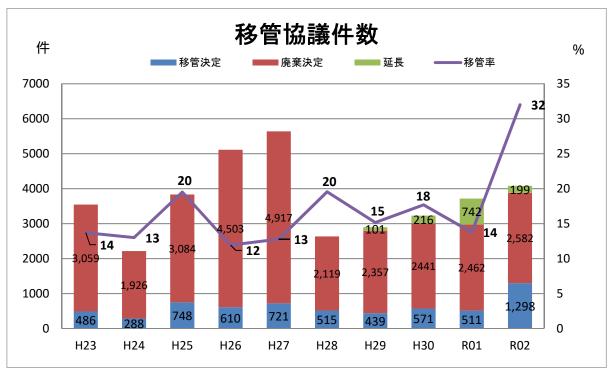
対象: 令和2年度末(2021.3.31)に保存期間が満了するもの

・ 令和2年度における法人文書移管協議は、当該年度末に保存期間が満了する神戸大学法人文書計4,079件を対象に2月9日から3月25日までの約1ヶ月半実施され、移管1,298件(移管率32%)、廃棄2,582件、保存期間延長199件が決定した。この協議結果に基づき、移管の受入れを令和3年度に実施予定である。

令和2年度法人文書移管協議の結果

移管協議の対象	総件数		協議結果		移管率	移管年度
	祁叶剱	移管決定	廃棄決定	延長		移官
令和 2 年度末保存期間満了分	4,079 件	1,298 件	2,582 件	199 件	32%	R3

- (注1)「移管決定」の数値は、分冊や関連文書等をまとめて1件とする場合があるため、実際の冊数や受入れ後の目録入力件数とは異なる。
- (注2) 移管決定 1,298 件には、旧神戸商船大学の旧文書 596 件、工学部の旧文書 155 件、計 751 件(移管決定総件数の 58%)を含む。
- (注3) 令和2年度第4回大学文書史料室運営委員会の審議時点では、総件数4,071件、移管決定1,293件、廃棄決定2,591件、延長187件であったが、その後、8部局から修正(登録漏れ移管追加13件、移管決定を延長に修正3件、移管決定から重複登録分を削除2件、移管決定から誤登録分を削除3件、廃棄決定を延長に修正9件)があったため、上表のとおりとなった。



令和2年度には旧神戸商船大学・工学部旧文書 751 件を含む

1-2. 法人文書等の受入れ状況

【事業計画】 令和 2 年度における法人文書等の受入れは、次のとおり実施する。

・法人文書(令和元年度法人文書移管協議の結果に基づく移管受入れ)

期間: 令和2年4月~6月末(予定) 対象: 令和元年度末(2020.3.31)に保存期間が満了したもの

•学内印刷刊行物

期間: 令和2年4月~6月末(予定) 対象: 令和元年度に作成された学内印刷刊行物

・個人・団体からの寄贈寄託文書等

期間: 随時 対象: 神戸大学の歴史に係る資料全般

・その他の受入れ

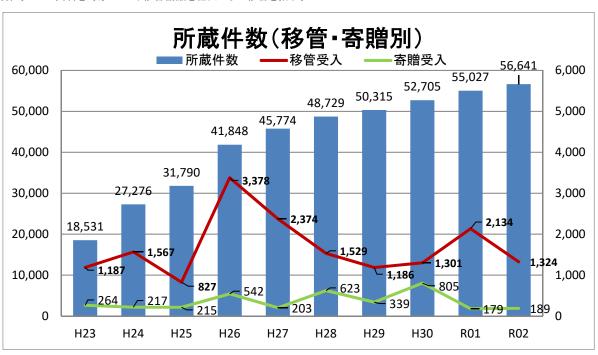
期間: 随時 対象: 他大学の年史などの寄贈図書(法的規制のない「参考図書」として受け入れる)

・ 令和2年度における法人文書等の受入れ状況は、学内移管文書等1,324件、個人・団体からの寄贈寄託文書等189件(以上、公文書管理法第2条第7項が規定する「特定歴史公文書等」に該当。)、他大学史等の参考図書117件、計1,630件である。

令和2年度における法人文書等の受入れ状況

	受け入れた法人文書等				
	法人文書(移管協議に基づく移管)		639 件 7 件		
	当中投资大事 体	スカス (上記以外の移管) スカス (上記以外の移管) スカス (大記) (また			
特定歴史公文書等	学内移管文書等 	学内印刷刊行物	678 件	1,513 件	
		(小計)	1,324 件		
	個人・団体からの	寄贈寄託文書等	189 件		
参考図書		117 件			

- (注1)「法人文書(移管協議に基づく移管)」の受入れ件数は、移管受入れ時点では 511 件だったが、分冊や関連文書等をまとめて1件としていたため、 目録入力時に改めて分冊等ごとに1件としたことにより 639 件となった。
- (注2)「上記以外の移管」とは、神戸大学法人文書ファイル管理簿(神戸大学法人文書管理規則第 10 条)に未掲載の古い法人文書、職員手控え書類及び門標等のモノ資料を対象とした、移管協議を経由しない移管を指す。



1-3. 目録入力

【事業計画】 令和 2 年度における目録入力は、次のとおり実施する。

なお、インターネット上の目録「神戸大学特定歴史公文書等データベース」は毎月定期的に更新する。

対象

- ① 令和2年度に受け入れた法人文書
- ② 令和2年度に受け入れた学内印刷刊行物
- ③ 令和2年度に受け入れた個人・団体からの寄贈寄託文書等
- ④ 前年度に受け入れた個人・団体からの寄贈寄託文書等のうち、未整理分(受入後1年以内)
- ⑤ 令和2年度に受け入れた参考図書

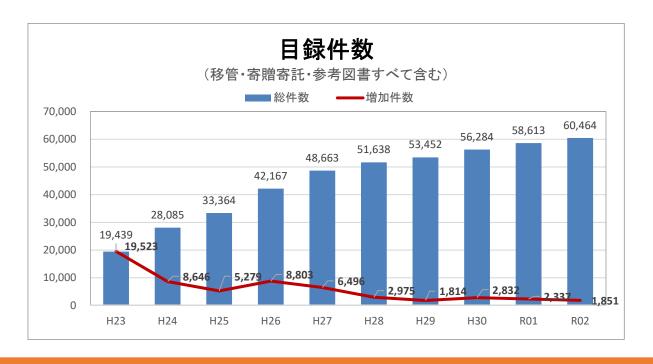
なお、①~④は、受け入れ後1年以内の排架·公開を目指す。(大学文書史料室利用等要項(以下「利用等要項」)3条2項)

- ・ 令和2 年度における目録入力の件数は1,851件であり、目録総件数は60,464件となった。
- ・ インターネット上の目録「神戸大学特定歴史公文書等データベース」を毎月定期的に更新した。
- ・ 国立公文書館など全国の公文書館等全 22 館(前年度より3 館増加)との横断検索による連携を充実させるため、目録情報1,851 件を追加提供した。

令和2年度における目録入力実績の内訳

	目録.	入力件数		
		法人文書		
 # 中	学内移管文書等 学 内移管文書等	学内印刷刊行物	720 件	1,622 件
付足歴史公文書寺		(小計)	1,366 件	1,022 1+
	個人・団体からの寄贈寄託文書等		256 件	
参考図書	寄贈図書のうち上記	記に該当しないもの(他大学史等)		229 件
	[上記合計] 令和 2 年度目録入力件数(①)			1,851 件
[参考] 平成 22-令和元年度目録入力件数(②)				58,613 件
	目録総件数(①+②)			60,464 件

- (注1)「目録」とは、「神戸大学特定歴史公文書等データベース」のことを指す。
- (注 2)「目録入力件数」の数値は、受入れ時点の件数とは異なる場合がある(受入れ時点では分冊や関連文書等をまとめて 1 件とする場合があるため)。また、令和元年度以前受入れ分の遡及入力の件数を含む。「平成 22-令和元年度目録入力件数」は重複登録 8 件を削除済。



2. 利用状況等

【事業計画】利用請求等への対応

利用者からの利用請求、簡易閲覧申込み、写しの交付請求に対して迅速かつ確実な対応に努めるとともに、一般利用の促進を図るため、展示会の開催、見学者の受入れ、所蔵資料のデジタル化、国立公文書館との連携による横断検索目録の充実、レファレンス対応(問い合わせに対する史料調査及び情報提供)等を積極的に行う。

2-1. 利用状況

・ 令和 2 年度における資料利用件数は、緊急事態宣言の発出に伴い 4 月 9 日から 6 月 25 日まで閲覧室の利用 を休止した影響もあり、前年度より 278 件減少して 204 件(前年度比 42%)、利用者数は、前年度より 36 名減少 して 33 名(前年度比 48%)であり、その内訳は下表のとおり。

令和2年度における利用状況

		利用者数	利用件数 (注)				
			閲覧(①)	写しの交付(②)	合計(①+②)		
	教員	5 名	73 件	6 件(32 枚)	79 件		
	教員以外の職員	14 名	64 件	0 件(0 枚)	64 件		
本 学	学生	2 名	7 件	2 件(16 枚)	9 件		
本学	旧教員	0 名	0 件	0 件(0 枚)	0 件		
	旧教員以外の旧職員	1 名	17 件	0 件(0 枚)	17 件		
	卒業生	2 名	1 件	1 件(5 枚)	2 件		
	教員	2 名	0 件	2 件(4 枚)	2 件		
他大学	教員以外の職員	1名	0 件	2 件(4 枚)	2 件		
	学生	0 名	0 件	0 件(0 枚)	0 件		
— 般	マスコミ	0名	0 件	0 件(0 枚)	0 件		
	その他	6 名	12 件	17 件(69 枚)	29 件		
	合計	33 名	174 件	30 件(130 枚)	204 件		

(注)「利用件数」の数値は、(1)公文書管理法第 16 条に基づく利用請求の件数、(2)同法第 24 条に基づく移管元部局による利用の特例の件数、(3)「特定歴史公文書等の保存、利用及び廃棄に関するガイドライン」第 22 条第 1 項に基づく簡便な方法による利用の件数の(1) ~ (3)を合計した件数。



2-2. デジタル・アーカイブの充実及び史料原本保護のための電子化

【事業計画】 史料保存及び利用者の利便性を考慮して、所蔵文書等のデジタル画像の作成、インターネット公開、目録 データベースとの連携によるデジタル・アーカイブの充実を図る。(利用等要項 22 条 2 項)

対象

① 『神戸高等商業学校 学友会報』(印刷刊行物)

対象巻号: 第 174 号(大正 13(1924)年 1 月刊)~最終第 184 号(大正 15(1926)年 3 月刊)(欠号:第 178、

179、181号)

作業内容: デジタル画像作成。インターネット公開。平成 26 年度からの継続事業(ただし平成 28、29 年度は予

算の都合で実施せず)の最終年度。

② 卒業アルバム(印刷刊行物)

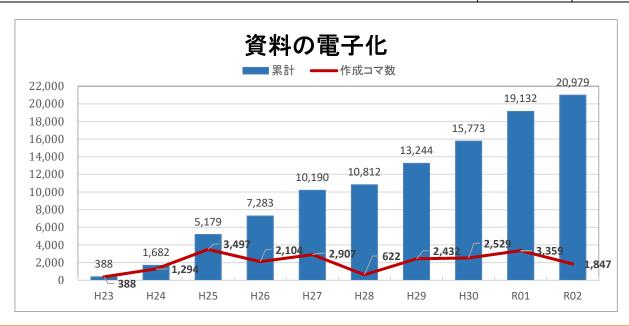
対象巻号: 旧制神戸高等商業学校・旧制神戸商業大学(作業冊数未定)

作業内容: デジタル画像作成。平成29年度からの継続事業。

- ・ デジタル・アーカイブの充実及び史料原本の保護を図るため、①社会科学系図書館所蔵の旧制神戸高等商業学校『学友会報』第174号~第184号(大正13年1月~15年3月刊、欠号:第178、179、181号)計8冊のデジタル画像376点(平成26年度からの継続事業、最終年度)、②劣化が著しい社会科学系図書館所蔵の旧制神戸高等商業学校・神戸商業大学『丘人』第208号~第218号、無号4冊(昭和2年3月~昭和16年3月)計15冊のデジタル画像1,104点、③劣化が進む旧制神戸商業大学の卒業アルバム(現存分)の内、第1回生(昭和7年)~第3回生(昭和9年)、計3冊のデジタル画像267点(平成29年度からの継続事業)、④『神戸商大新聞』No.65附録「六甲台」(昭和10年10月)1冊のデジタル画像100点をそれぞれ作成した。
- ・ 利用者の利便性を考慮して、利用度の高い上記①のデジタル画像のインターネットでの公開を 8 月 27 日より開始した。なお、インターネットによる電子化史料公開ページ「デジタル・アーカイブ」(https://lib.kobe-u.ac.jp/archives/da/)の令和 2 年度アクセス数は、1,477 件(前年度比 95%)であった。

令和2年度における電子化事業の状況

対象	画像作成	WEB 公開
・旧制神戸高等商業学校『学友会報』第 174~184 号(欠あり)計 8 冊	376 点	0
·旧制神戸高等商業学校·神戸商業大学『丘人』第 208~218 号、無号 4 冊、計 15 冊	1,104 点	準備中
・旧制神戸商業大学の卒業アルバム第 1~3 回生、計 3 冊	267 点	
·『神戸商大新聞』No.65 附録「六甲台」1 冊	100 点	準備中
合計	1,847 点	



2-3. 展示会の開催

【事業計画】

「展示その他の方法により積極的に一般の利用に供するよう努めなければならない。」とする公文書管理法第 23 条の趣旨に沿って、神戸大学の歴史に関する展示を開催する。(利用等要項 23 条)

常設展

収蔵物を広く学内外に紹介するため、常設展「神戸大学史展―創立 1902(明治 35)年から現代まで―」を常時開催する(ただし特別展の開催期間を除く)。学内改組等により展示内容の更新が必要になる場合は、経費等を勘案し可能な範囲で迅速に対応する。

- 特別展 巡回展
- ① 第 15 回ホームカミングデイに合わせて特別展を開催する(10 月開催予定。テーマは別途検討)。
- ② 巡回展を3回開催する(神戸と東京において開催。11~12月海事博物館、1月東京六甲クラブ、2月社会科学系図書館展示ホール開催予定。各会場の規模に合わせて特別展の内容を再構成)。
- ・ 常設展「神戸大学史展ー創立 1902(明治 35)年から現代までー」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発出に伴い、4 月 9 日から開催を休止し、宣言解除後も展示品入れ替えのため休止を継続したため、令和 2 年度内は再開しなかった。
- ・ 令和2年度特別展は、終戦75周年を記念して、「戦場に行った学生たち一終戦75周年記念一」をテーマに、学徒出陣により兵士として戦場に行った神戸大学の学生たちの諸相について、貴重な歴史資料や写真などで取り上げた。事前にテーマに係る史料の調査研究を実施し、その成果を展示に活用した。なお、開催に当たっては感染予防対策に努め、学外者は事前予約制とした。当初の会期は、11月2日~12月28日であったが、①好評のため会期延長の要望が多かったこと、②コロナ禍による巡回展の中止、③会場の継続使用が可能となったこと、の3つの理由により、1月4日~2月12日の予定で会期を延長したが、緊急事態宣言の再発出により、1月14日に会期延長を中止した。来場者数は、前年度より636名増加して1,649名(前年度比163%)であった。なお、来場者アンケート集計によれば、回答者65名中、とても満足39名(60%)、満足26名(40%)であり、総合的な満足度100%の高評価を得た。
- ・ 令和 2 年度巡回展(神戸 2 回、東京 1 回)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮して開催中止 となった。

令和2年度における展示活動の状況

種類	展示テーマ	開催期間	会場	来場者数
常設展	神戸大学史展一創立 1902(明治	(コロナ禍のため	神戸大学百年記念館	<u></u>
市政政	35)年から現代まで-	R2.4.9 から休止)	1階 展示ホール	
		R02.11.02(月)-		
		R02.12.28(月)		
特別展	戦場に行った学生たち	会期延長:	神戸大学百年記念館	1 640 🗗
村 加 版	一終戦 75 周年記念一	R03.01.04(月)-	1階 展示ホール	1,649 名
		(コロナ禍のため		
		R3.1.14 延長中止)		
巡回展	戦場に行った学生たち		 神戸大学海事博物館	_
(神戸 I)	一終戦 75 周年記念一		147八十两争诗物路	
巡回展	戦場に行った学生たち	(コロナ禍のため	 神戸大学東京六甲クラブ	
(東京)	-終戦 75 周年記念-パネル展	開催中止)	作に入手来ぶハザンノン	
巡回展	戦場に行った学生たち		神戸大学社会科学系図	
(神戸Ⅱ)	一終戦 75 周年記念一		書館2階展示ホール	
	·		合計	1,649 名



常設展の案内チラシ



特別展の案内チラシ



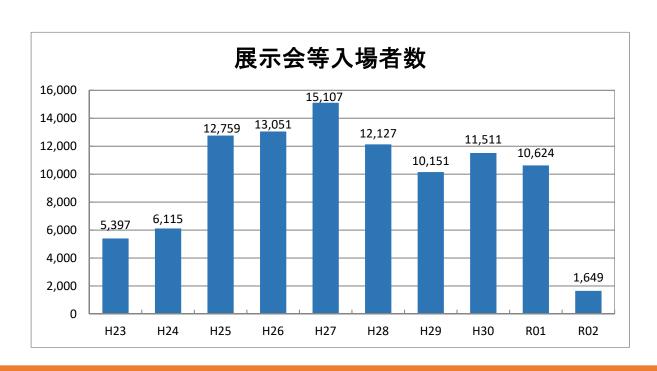
特別展会場入口での感染予防対策 (手指消毒、検温、健康チェックシート記入)



特別展(左側)



特別展(右側)



2-4. 他機関等からの見学受入れ

・ 他機関等からの見学(視察)が2機関8名あり、その内訳は下表のとおり。

令和2年度における見学の受入れ状況

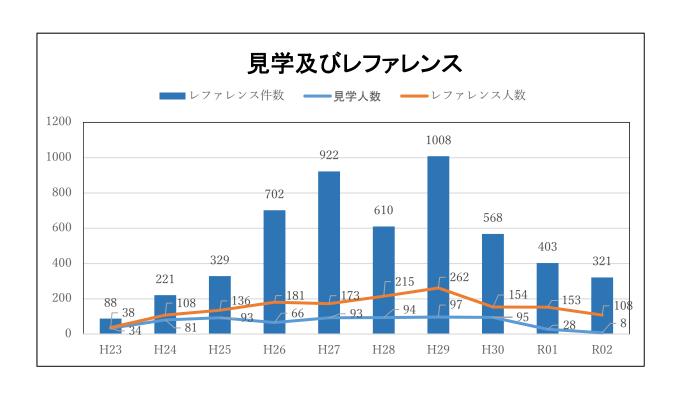
年月日	大学文書史料室を見学した機関	見学者数
R02.06.25(木) R02.12.18(金)	国立昭和館(職員1名) 神戸大学附属中等教育学校(教員1名、4年生4名、保護者1名、 人文学研究科大学院生1名)	1 名 7 名
	合計	2 機関 8 名

2-5. レファレンス対応

・ 学内外からの各種照会(主に調査相談)は、321 件(前年度比 80%)、108 名(前年度比 71%)あり、それぞれ情報提供を行った。

令和2年度におけるレファレンス活動

対 象		件数(人数)	対象		件数(人数)
	教員	100 件(26 名)	他	教員	9件(7名)
	教員以外の職員	103 件(32 名)	大	教員以外の職員	3件(2名)
	学生	15 件(3名)	学	学生	0件(0名)
本学	旧教員	1件(1名)	_	マスコミ関係	2件(2名)
	旧教員以外の旧職員	18 件(1 名)	般	その他(周辺住民等)	59 件(26 名)
	卒業生	9件(6名)		合計	321 件(108 名)
	関係諸団体(同窓会等)	2件(2名)			321 17(100 14)



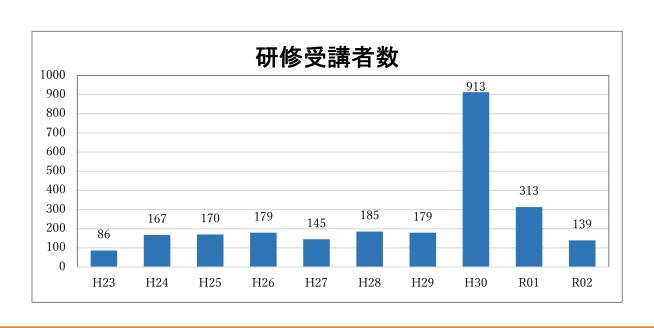
3. 研修その他

3-1. 研修の実施

・ 公文書管理法第 32 条に基づき、本学職員及び大学文書史料室員に対して、次の研修を実施した。なお、全職員(教員を含む)対象の法人文書管理研修(e-ラーニング)は、総務部総務課との共催であり、大学文書史料室は主に講義資料(教材)の作成を担当した。

令和2年度における研修実施の内容

研修名	対象者	テーマ・内容	開催日	受講者数	備考
新任教職員研修 (講師派遣)	神戸大学の新 任教職員	神戸大学法人文書管理について	R02.04.07(火) (コロナ禍のため 集合研修中止、 オンデマンド型 遠隔研修実施)	- 名	総務部人事 課主催
法人文書管理研修(e-ラーニング)	神戸大学の ①事務員 ②教員 ③文書管理者 及担当者 理担当者	各対象者向けに下記3つの教材を使用(①②の教材を使用(①②の教材を作成)。 ①神戸大学における法人文書管理業務の全事のな内容 ②教内文書の管理に関するのででするででです。 ③適正な文書で理を確けののででである。 の内容(内閣府作のの別用教材を使用)	通年実施、 R02.12.25(金)から 教材更新 (オンデマンド型遠 隔研修)	132 名	総務部総務 課との共催 理解度テスト 「ケースタ ディ(事例演習)」付き
大学文書史料室 研修	大学文書史料 室の職員	①新聞記事文庫フルテキ スト作成演習 ②総合教養科目「神戸大 学史 B」学長講義受講	①R02.04.10(金)- R02.06.30(火) (在宅演習) ②R02.07.27(月) (リアルタイム型 遠隔授業)	① 4名 ② 3名	大学文書史 文利 第 30 条 1 項の規定員研 を 修



3-2. その他

内閣総理大臣への令和元年度状況報告

令和 2 年 8 月 12 日付け神大史室第 2-1-1 号により、「令和元年度特定歴史公文書等の保存及び利用の状況」を内閣総理大臣に報告した。本件は、公文書管理法第 26 条第 1 項に規定する報告の義務に基づく。なお、本報告の概要は、令和 3 年 3 月に内閣府大臣官房公文書管理課から「令和元年度における公文書等の管理等の状況について」として公表された。

◆ 令和2年度全国公文書館長会議への参加(コロナ禍のため開催中止)

国立公文書館主催「令和 2 年度全国公文書館長会議」(令和 2 年 6 月 9 日、10 日開催予定)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、中止された。

● 規則等の改正

押印・署名・書面の義務付けを廃止する「特定歴史公文書等の保存、利用及び廃棄に関するガイドライン」(平成 23 年 4 月 1 日内閣総理大臣決定)の一部改正(令和 2 年 12 月 23 日改正、令和 3 年 1 月 1 日施行)に即応して、「神戸大学大学文書史料室利用等要項」について所要の改正を行った(令和 3 年 1 月 7 日改正施行、同年 1 月 1 日適用)。

● 利用案内パンフレット(英語版)の作成

国際的な利用者層の拡大を図るため、英語版の利用案内パンフレットを作成した(3月)。

● 利用者に対する感染予防対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言発出に伴い、閲覧室の利用を4月9日から6月25日まで休止した。また、6月26日からの閲覧室の再開に伴い、利用者に対する感染予防対策(「三密」回避)の一環として、閲覧室前の空きスペースに簡易な臨時閲覧室を仮設した。

書庫収容力の向上

飽和状態であった書庫の狭隘を解消するため、当室に隣接する総務部・企画部書類倉庫(百年記念館 1 階)に従来の 固定書架 3 台に替えて収蔵能力が高い集密書架 5 台を 1 月に設置し、そのうち 3 台を総務部・企画部が使用、2 台 (鍵付き)を当室が使用することとなり、収蔵能力が向上した。

● 温湿度データ管理の開始

従来のアナログ式温湿度記録計に加えて温度・湿度を自動でデジタル測定・記録するデータロガーを書庫、閲覧室、展示ホールにそれぞれ設置し、温湿度のデータ管理を開始することにより、保存環境の状態をより正確に把握することができるようになった。

● 法人文書管理状況監査への同行

総務部総務課が実施する令和 2 年度法人文書管理状況監査に可能な限り積極的に同行(2 回)し、本学における文書管理状況の把握に努め、問題点の共有を図ると共に、法人文書管理研修の教材改善に反映させた。

● 調査研究への協力

次の学外 2 機関による本学の歴史に関する調査研究にそれぞれ協力し、各事業への支援を通じて本学情報の発信に 貢献した。

- ①国立昭和館主催の兵庫県オーラルヒストリー(証言映像)制作のための事前調査(令和2年7月6日~7日)及び本調査(同年12月11日)に協力した(令和3年度に共催で展示開催予定)。
- ②劇団 LiveUpCapsules 主催の舞台公演「彼の男十字路に身を置かんとす」(後援: 神戸市、神戸新聞社、神戸大学、令和2年4月17日~19日開催予定(コロナ禍のため開催中止))の時代考証及び本学出身の鈴木商店「高商派」に関する史料調査に協力した。

● 寄稿(依頼原稿)

利用者支援及び広報の充実を図るため、執筆依頼に応じて史料の調査研究を実施し、本学広報誌 2 回、同窓会誌 4 回の寄稿を次のとおり行った。

- ①「神戸大学レッドパージ—大学文書史料室から(34)—」(同窓会誌『凌霜』第 425 号、神戸大学凌霜会、令和 2 年 4 月号、20-21 頁)
- ②「戦場の学生たち—大学文書史料室から(35)—」(同窓会誌『凌霜』第 426 号、神戸大学凌霜会、令和 2 年 7 月号、30-31 頁)
- ③「「神大」ヒストリー「神戸高商」初代校長 水島銕也先生」(神戸大学広報誌『風』Vol.15、神戸大学総務部広報課、 令和2年7月、2頁)
- ④「戦場の学生たち(2)—元首相・宇野宗佑氏の場合—大学文書史料室から(36)—」(同窓会誌『凌霜』第 427 号、神戸大学凌霜会、令和 2 年 10 月号、38-39 頁)
- ⑤「「神大」ヒストリー ロイ・スミス館(旧大谷家住宅)」(神戸大学広報誌『風』Vol.16、神戸大学総務部広報課、令和 2 年 12 月、2 頁)
- ⑥「戦場の学生たち(3)—文系軽視の時代—大学文書史料室から(37)—」(同窓会誌『凌霜』第 428 号、神戸大学凌霜会、令和3年1月号、22-23頁)

神戸大学沿革図の作成

- ①『令和2年度学生生活案内』(学務部、4月刊行)掲載の本学沿革図を作成した。
- ② 『神戸大学大学概覧 2020』(総務部広報課、7月刊行)掲載の本学沿革図を作成した。

● 学内記念事業への協力

- ①工学部オンライン・ホームカミングデイ 2020 特別講演動画「廣田精ー校長と電気自動車―神戸高等工業の歴史を振り返って―」(小川真人理事、11月1日~30日公開)の作成に協力した。
- ②「工学部創立 100 周年記念動画」(11 月 29 日公開)の作成に協力した。
- ③『神戸大学案内 2020-2021』(学務部入試課、6月刊行)の「神戸大学の歴史」ページを作成した。
- ④『神戸大学統合報告書 2020』(神戸大学、10 月刊行)の「神戸大学の歴史」ページ作成に協力した。

大学史及びアーカイブズ学関連講義への講師派遣

本学の歴史及びアーカイブズ学に係る次の講義に協力して講師を担当した(大学史講義 3 回、アーカイブズ学講義 4 回)。

- ①総合教養科目「神戸大学史A·B」の講師を担当した(前期3回、オンデマンド型遠隔授業)。
- ②文学部専門科目「地域歴史遺産保全活用基礎論A」の講師を担当した(前期 1 回、講義資料を作成したがコロナ禍のため中止)。
- ③文学部専門科目「博物館実習C」の講師を担当した(後期4回、対面授業)。

● 講演会・学外研修会の講師担当

本学の歴史に係る次の講演会・学外研修会の講師を担当した(学内1回、学外1回)。

- ①神戸大学オンライン・ホームカミングデイ 2020 において特別講演「神戸大学の昔と今」の講師を担当した(11 月 1 日~30 日、オンデマンド配信、令和 3 年度に YouTube 配信予定)。
- ②国立公文書館主催「アーカイブズ研修 I」の講師を担当した(9月3日、受講者53名)。

● 「認証アーキビスト」資格の取得

文書管理専門の公的資格「認証アーキビスト」(当年度創設)を室員が取得した。

● 寮歌祭への参加(コロナ禍のため開催中止)

旧制前身校同窓会との交流を深めるため例年寮歌祭に参加していたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の 感染拡大のため開催が中止された。

沿革

2010(平成 22)年 4 月 1 日	神戸大学附属図書館大学文書史料室設置
2010(平成 22)年 4 月 1 日	旧百年史編集室主催の神戸大学史常設展(百年記念館1階展示ホール)を継承
2010(平成 22)年 10 月	特別展「神戸大学と戦争―終戦 65 周年記念―」を開催(10 月 25 日-11 月 5 日)
2010(平成 22) 平 10 月	(以後、毎年度テーマを変更して特別展を開催)
2011(平成 23)年 4 月 1 日	「国立公文書館等」の政令指定を受ける
2011(平成 23)年 4 月 1 日	一般利用開始
2011(平成 23)年度	全学対象の移管受入れを開始(以後、毎年度定期的に実施)
2018(平成 30)年 4 月 1 日	神戸大学大学文書史料室に改組

歴代大学文書史料室長

福長 進(人文学研究科教授、附属図書館副館長)	平成 22 年 4 月 1 日~平成 23 年 3 月 31 日
大塚 裕史(法学研究科教授、附属図書館副館長)	平成 23 年 4 月 1 日~平成 25 年 3 月 31 日
木下 資一(国際文化学研究科教授、附属図書館副館長)	平成 25 年 4 月 1 日~平成 27 年 3 月 31 日
大津留 厚(人文学研究科教授、附属図書館副館長)	平成 27 年 4 月 1 日~平成 29 年 3 月 31 日
浅野 慎一(人間発達環境学研究科教授、附属図書館副館長)	平成 29 年 4 月 1 日~平成 31 年 3 月 31 日
中野 俊一郎(法学研究科(法科大学院)教授)	平成31年4月1日~令和2年9月30日
小野 博司(法学研究科教授)	令和 2 年 10 月 1 日~現在

令和2年度 評価と課題

令和2年度は、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が4月7日に発出され、展示ホール及び大学文書史料室が臨時閉室という状況でのスタートとなった。6月末に通常業務を再開することができたが、キャンパスへの立入制限により、展示ホールは10月末まで休止した。特別展は無事開催することができ好評を得たものの、例年実施していた学内及び東京での巡回展は実施することができなかった。令和3年1月、再度の緊急事態宣言に伴い、展示ホールを休止とした。授業は1年間ほぼリモートでの開講となり、教職員の在宅勤務が試行されるなど、大学の環境は急激な変化を見せている。

このような異常事態の中、国立昭和館が次年度兵庫県で開催する巡回特別企画展への協力、工学部 100 周年への協力等と共に、政令指定機関としての法的義務を全うするため、歴史公文書等の受入れ、目録入力、利用請求の対応、展示活動、職員研修、電子化事業、内閣総理大臣への状況報告、見学受入れ等を実施、学内外の各種事業、大学史等関連授業、大学広報、同窓会活動等に協力して資料調査、講師派遣、寄稿、講演、マスコミ対応 等を行った。また、懸案であった書庫の狭隘対策として、隣接の倉庫スペースに移動棚を設置することができ、また、令和 5 年完成予定の自然科学系図書館改修計画において、当室専用書庫が設置されることにより、当面の収蔵スペースが確保される予定である。

今後の課題としては、電子文書の受入れ・長期保存・利活用に向けた整備、利用審査業務の効率化・標準化、歴史公文書等の評価選別基準の見直しに向けた検討、多言語対応を含む効果的な展示の工夫、展示物の複製化、e ラーニング研修教材の充実、利用支援のオンライン対応等が挙げられる。

神戸大学大学文書史料室概要(令和3年4月1日)

(1) 名 称: 神戸大学 大学文書史料室(英文名 Kobe University Archives)

(2) 住 所: 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学百年記念館1階

(3) 設 立: 平成 22 年 4 月 1 日

(4) 政令指定: 平成23年4月1日(内閣総理大臣指定「国立公文書館等」)

(5) 目 的: 「大学文書史料室は,特定歴史公文書等(公文書等の管理に関する法律(平成21年法律第66号) 第2条第7項に規定する特定歴史公文書等のうち,大学文書史料室に移管され,又は寄贈され,若 しくは寄託されたものをいう。)その他本学の歴史に係る資料を保存するとともに,一般の利用に 供することを目的とする。」(「神戸大学の室に関する要項」第54条)

(6) 延床面積: 243 ㎡ (内訳:閲覧スペース 12 ㎡、事務室 19 ㎡、作業室 28 ㎡、書庫 102 ㎡、展示ホール 63 ㎡、 観覧スペース 19 ㎡)

(7) 職員数: 兼任教員(室長(法学研究科教授)) 1名

専任職員(室長補佐(主任政策研究職員)) 1名 (認証アーキビスト)

 事務員(再雇用職員)
 1 名

 事務補佐員(週 30 時間)
 1 名

 事務補佐員(週 12 時間)
 1 名

(8) 所蔵文書: 目録登録総数 60,464 件(内訳:特定歴史公文書等 56,641 件、参考図書 3,823 件) 代表的な収蔵文書は下記のとおり。

前身学校

・旧制神戸高等商業学校文書(明治35年~昭和4年) 約1000点
 ・旧制神戸商業大学文書 (昭和4年~昭和19年) 約1200点
 ・旧制神戸経済大学文書 (昭和19年~昭和27年) 約400点
 ・旧制姫路高等学校文書 (大正13年~昭和24年) 約300点

- ·旧制神戸高等工業学校·工業専門学校文書(大正 10年~昭和 26年)約 700点
- ・旧制御影· 姫路師範学校等附属小学校文書 (明治 20 年代~昭和 24 年)約 550 点
- ・県立農科大学・兵庫農科大学文書(昭和 24 年~昭和 44 年) 約 170 点 など 神戸大学

・神戸大学設置関係文書	(昭和 20 年代)	約	10 点
・神戸大学学報	(昭和25年~平成7年)	約	500 点
・神戸大学評議会議事録	(昭和24年~昭和50年代)	約	40 点
・県立大学国立移管関係文書	(昭和 30、40 年代)	約	20 点
・旧姫路分校文書	(昭和 20、30 年代)	約	200 点
・旧御影分校文書	(昭和 20、30 年代)	約	400 点

・各教授会記録 (昭和20年代~平成初期) 約600点 など

個人・団体

・旧制神戸商業大学初代学長田崎愼治旧蔵文書 約 120 点 ・旧制神戸商業大学予科同窓会凌霜思誠会旧蔵文書等 約 200 点

・旧制兵庫県明石女子師範学校同窓会明玉会旧蔵文書等 約 200 点 など



令和3年11月

神戸大学大学文書史料室

https://lib.kobe-u.ac.jp/archives/

archives@lib.kobe-u.ac.jp